

TOKYO LIONS CLUB



Liberty 自由を守り

Intelligence 知性を重んじ

Our われわれの

Nation's 国の

Safety 安全をはかる





東京 ライオンズクラブ

ライオンズクラブは、「ライオンズクラブ国際協会」という社会奉仕団体に所属する単位クラブで、世界200カ国以上、会員数138万人、日本では10万人を越える会員で構成されている、世界最大の奉仕団体です。(NGO世界第一位)

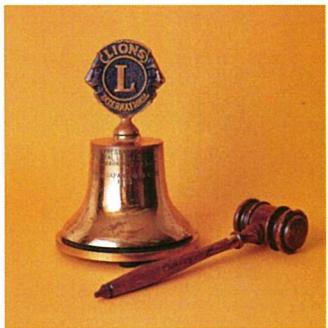
「ワイ・サーヴ」(我々は奉仕する)をモットーとして掲げ、世界の国々で様々な奉仕活動に取り組んでいます。

東京ライオンズクラブは1952年3月、フィリピンのマニラ・ライオンズクラブによって日本で最初に設立されたクラブで、横浜・神戸・札幌を始め20のクラブをスポンサーし、現在では日本のライオンズクラブが2,850クラブ以上に発展いたしました。(世界では50,000クラブ)

スポンサーした20クラブ

1	横浜	L C	1952年	7月29日
2	神戸	L C	1953年	2月10日
3	札幌	L C	1956年	2月28日
4	函館	L C	1956年	9月 3日
5	青森	L C	1956年	12月12日
6	東京新橋	L C	1957年	1月30日
7	東京渋谷	L C	1957年	2月 8日
8	仙台	L C	1957年	4月 5日
9	東京日本橋	L C	1957年	4月12日
10	甲府	L C	1957年	10月17日
11	東京芝	L C	1958年	6月26日
12	市川	L C	1961年	2月 1日
13	川口	L C	1961年	5月 8日
14	伊東	L C	1961年	12月 5日
15	日立	L C	1962年	1月22日
16	日光	L C	1963年	1月26日
17	千葉	L C	1963年	3月28日
18	東京練馬	L C	1963年	3月29日
19	東京世田谷	L C	1963年	3月30日
20	東京キング	L C	2012年	3月15日

We Serve
われわれは奉仕する



ライオンズクラブの歴史

ライオンズクラブ国際協会は、1917年アメリカのシカゴ市で誕生しました。創立者メルビン・ジョーンズは実業家の団体が単なる商売上の、あるいは社交上の集まりにとどまらず、社会のための有益な団体にならないかと考えて各種団体に呼びかけ、「ライオンズクラブ協会」が結成されました。



【1925年】

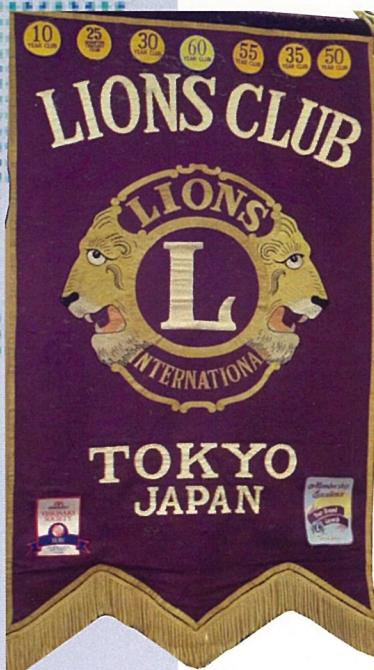
ライオンズクラブの大会に招かれたヘレン・ケラー女史が「暗黒と闘う盲人の騎士になって欲しい」と呼びかけ、満場一致で世界で初めての女性会員となりました。以来ライオンズクラブでは視力障害者の為に尽くす活動を、重要なテーマの一つに掲げ、誇り高い活動を行ってきました。



ライオンズクラブの目的

社会奉仕活動を職域や個人で行うだけでなく、ライオンズクラブという団体を組織し、チームワークを発揮して行うことによって、有意義な効果を挙げることが出来るよう組織された団体です。奉仕活動は、社会が必要とする全方位にわたり、地球環境問題改善、献血、骨髄バンクへの協力、献眼、献腎などの臓器移植、薬物乱用防止、スポーツ奨励等の青少年健全育成、高齢者福祉、身障者福祉、救急救命士育成、災害に対する緊急対策、発展途上国への小学校建設等の国際貢献、等々、行政の手が及ばない分野にも、過去の経験にとらわれず、次々とタイムリーな活動をしております。

各クラブではその地域社会で、真に求められている事を、その目で、耳で、足で探しだし、その奉仕の仕方を研究し、実践しています。



仲間と手を取り合い、奉仕のネットワークを世界へ。

困っている人の力になれる。

青少年育成や、高齢者・障害者への支援活動、植樹など環境保護運動・・・。
あなたの時間と能力を奉仕活動に活かす事ができます。

東京ライオンズクラブは日本におけるライオニズムの象徴として堅実な発展を成し遂げました。過去に実施して成功をもたらした奉仕活動の中でも「インド救ライ」「スズラン給食」「リッチランドの壺」「白い杖」「高校生奨学金制度」などは、今でも多くの日本のライオンズクラブで語り継がれています。東京ライオンズクラブは日本で最初に結成されたクラブということだけでなく、常に我が国のライオンズクラブの中心的、指導的、模範的役割を担って参りました。

過去の周年行事の活動実績と毎年の奉仕活動

10周年	1962年	東京消防庁に消防司令車贈呈
15周年	1967年	(財) 日本盲導犬協会の発足時資金援助と東京消防庁に救急用監視装置一式贈呈
25周年	1977年	日本武道館前の時計塔の改新寄贈　日赤へ献血広報車寄贈 盲導犬協会資金援助(歌舞伎チャリティーショー、坂東三津五郎丈 尾上松録丈)
30周年	1982年	日本赤十字社への献血運搬車寄贈、数寄屋橋公園への花時計寄贈
35周年	1987年	東京ピースハウスの建設協力金贈呈 (ホスピスルーム(終末医療))
40周年	1992年	環太平洋地区の国々の教育に貢献する為の基金創設
50周年	2002年	地雷除去支援金1800万円贈呈 (LCIF)　老人介護車2台贈呈 (中央区 / 他) (財) 日本国際教育協会留学生奨学金1000万円贈呈
55周年	2007年	(財) 癌研究会に献金　視力ファーストIIキャンペーン協賛金
60周年	2012年	①マニラ市内に貧困家庭児童のデイケアセンター建設 (LCIF) ②メルビン・ジョーンズ・フェロー (MJF) 会員100%献金 (はしか指定) ③東京駅舎内雄勝石壁画プロジェクトへ義捐金贈呈 (東日本大震災復興支援) ④東京キングライオンズクラブのエクステンション (20番目の子クラブ)
65周年	2017年	①ミャンマーの学校にコンピューター教室贈呈 (LCIF) ②東日本震災支援 (福島こどもオーケストラ演奏) ③(財)日本盲導犬協会50周年記念寄付 ④MJF 献金　⑤(財)がん研究会に献金
70周年	2022年	①公益財団法人日本盲導犬協会55周年記念寄附 ②ミャンマーヨグア校 PC 教室継続支援 ③カトマンズ東京 LC、孤児院活動資金寄附 ④マニラ貧困地区学校へ文具類寄附 ⑤一般社団法人深川アートパラ芸術祭寄附 ⑥日比谷公園大盆踊り会寄附 ⑦湯島聖堂孔子像斯文会寄附

盲導犬育成街頭募金

1967年に東京ライオンズクラブが資金援助をし、日本盲導犬協会が設立され、東京LCクラブの迫水久恒L（国際理事・衆議院議員）が初代理事長を務めました。
毎年春に数寄屋橋交番前で、盲導犬育成街頭募金活動を行っています。



アイバンク登録の推進

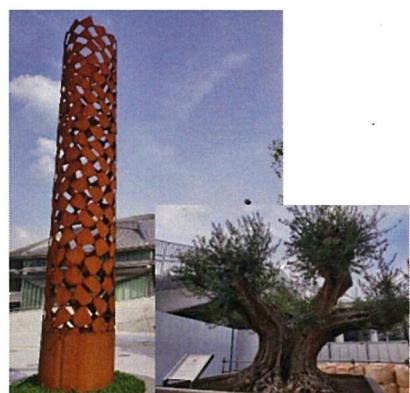
ライオンズクラブは視聴覚障害者福祉や視力保護の活動に重点を置いています。全国にある54のアイバンクの多くは、各地のライオンズによって設立され、運営においても中心的役割を担っています。



東京2020パラリンピック支援

会員からの寄附金で

- ①次世代アスリート338人に活動費を支援、そのうち52人がパラリンピックに出場、11人がメダルを獲得しました。
- ②国立競技場内にモニュメント設置とオリーブの木植樹
- ③メダルを獲得した14の競技団体に強化資金を贈呈しました。



留学生支援ネパール カトマンズ東京LC支援

50周年記念事業で4人の留学生に1000万円の奨学金を贈呈しました。中央大学に留学したネパール出身のニマさんは、帰国後日本語学校を経営。ライオンズクラブに入会、その後新クラブを結成、クラブ名を「カトマンズ東京LC」と命名、孤児院支援や地域貢献に努められています。



マニラ名誉市民賞受賞

60周年記念事業で、マニラLCとLCIF資金を協調し、マニラ郊外に【貧困家庭児童の為デイケアセンター】を建設しました。フィリピンの児童福祉に貢献した事を高く評価し、リム・マニラ市長から東京LCに「名誉市民賞」が贈呈されました。文具類の継続支援を行っています。



ミャンマーの学校に パソコン教室を開講

65周年記念事業で貧困からの脱却を目的としてLCIF資金と協調し、ミャンマー ヤンゴン郊外のヨーグア中高一貫校にPC教室を開講、卒業生から、国立大学進学や企業就職者が出来始めました。

EDFミャンマーさんと共に継続支援しています。



深川アートパラ芸術祭支援

障害のある人の創作活動を応援する芸術祭で、江東区の門前仲町、富岡八幡通り、清澄白河、町全体が美術館になります。作品群は個性や才能を生かす社会と繋がります。



東京駅舎内 雄勝石壁画制作支援

東日本大震災で被災した石巻市の特産「雄勝石」は硯や東京駅舎の屋根に使われています。被災した石巻の子供たちは、この雄勝石プレートを使い大きな富士山の壁画を作成、東京駅舎地下コンコースに永久展示されています。



薬物乱用防止活動

薬物乱用は乱用者の低年齢化が懸念されますので、LCでは小学生を対象とした講演会やキャンペーンを実施しています。ライオンズクラブ創立100周年記念「ダメ、ゼッタイ」「NO ドラッグ」パレードを警視庁音楽隊の先導で600名が参加し銀座通りでPR活動を致しました。



リッチランドの壺

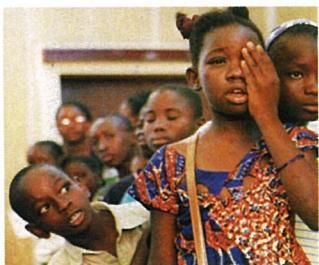
愛の光は国境超えて

1956年7月、米国ワシントン州リッチランド・ライオンズクラブから東京ライオンズクラブへ青森市在住の「青年の失明を教うために寄せられたファン」を記念してつくれたのがこの「リッチランドの壺」であります。当クラブとリッチランド・ホスト・ライオンズクラブとの姉妹提携を契機として東京ライオンズクラブより基金と共に委譲されましたのでその精神を尊重し引き続きメンバー各位のご協力により蔵金を続けて参りたいと存じます。



1956年青森市のパブテスト教会の信徒に、20歳の網膜剥離で失明寸前の青年がいました。手術費は高額で自分では用意が出来ませんでした。教会の牧師は青年を救おうと、故郷リッチランドのライオンズクラブに話したところ愛に国境はない、リッチランドLCが寄付を呼びかけ、手術費が集まりました。東北地方にはまだLCが無かったので、東京LCにその集まった手術費の受け渡しを託しました。東京LCは、手術を受けるのは日本の青年なので、手術費自体は東京LCが負担するとともに、リッチランドLCの善意を永遠に記念する為、同LCからの送金をもとに「リッチランド・アイ・基金の壺」を作りました。また、これを機に、東京クラブがスポンサーとなり青森LCが設立されました。青年は手術により視力を回復、後日青森LCに入会し、2006年青森LC創立50周年時の会長になり、リッチランドLCと姉妹提携をしました。

LCIFとはライオンズクラブ 国際財団のことです



LCIFは、1968年にライオンズクラブ国際協会により設立された非営利法人で、会員等から寄贈を受けた基金によって、人類の福祉に貢献することを目的とした国際財団です。地域や世界の人道主義奉仕、災害援助、職業技術訓練などの慈善活動を積極的に推進しています。会員による地域社会への奉仕も支援し世界中のライオンズクラブに助成金を交付しています（総額10億ドルを越えています）。LCIFの支援により、ライオンズクラブの会員たちは、失明や聴力の喪失などのグローバルな問題に取り組み、学校建設、井戸の設置や、地震・洪水などの大災害にも対処しています。

東日本大震災には世界中から2100万ドルの指定献金がありました。

世界に広がる組織の一員になれる

ライオンズクラブは国際的なネットワークです。
国境を越えた奉仕活動や、会員同士の交流を
経験する事ができます。



マニラホストライオンズクラブ70周年



ソウルホストライオンズクラブ60周年

東京クラブでは東南アジア各国の最古参クラブとの姉妹提携をしており、活発な交流活動をしております。またアジアフォーラム大会、国際大会への参加により世界中のライオンと親交を深めることができます。

(姉妹提携クラブ名)

台北 ライオンズクラブ マニラライオンズクラブ
ソウルライオンズクラブ ヤンゴンライオンズクラブ



台北ホストライオンズクラブ65周年



ヤンゴンライオンズクラブ

友情で結ばれた仲間を増やす

様々な奉仕活動やクラブ行事を通じて、
職業や年齢の違いを超えた多くの仲間と、
厚い友情を育むことができます。

東京クラブでは全国に20のクラブをスポンサーしており、様々な地方のメンバーと親密な交流をしています。新年例会、5月にはオールデスト5クラブ（横浜・神戸・大阪・京都・東京）の集いや、6月には12クラブゴルフ会（霞ヶ関CC）、8月納涼例会、9月にはフォレスト鳴沢G & C Cで移動例会、12月クリスマス家族例会など、例会に趣向を凝らし、楽しいひと時を過ごすことが出来ます。



新年例会（大相撲観戦）



12クラブゴルフ会（霞ヶ関CC）



納涼例会（歌舞伎観劇）



例会風景（音楽を楽しむ）



クリスマス家族例会



自分の能力を伸ばせる

リーダーシップを磨くトレーニングの参加や、各種委員会・大会参加を通じて、ビジネスの現場でも役立つスキルが身に付きます。

クラブのメンバースピーチ、各界の著名人をお招きしての講演会、委員会活動及び研修会、地区大会、複合地区大会での交流。



有名メンバの卓話

- 人間の究極の幸せは
1. 人に愛されること
2. 人に褒められること
3. 人の役に立つ事
4. 人に必要だとされること

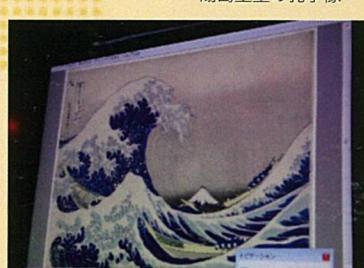


湯島聖堂の孔子像
をご存知ですか

1975年台湾の
ライオンズクラブ
が世界最大の孔子像を寄贈しました。



有名元野球選手の講演



浮世絵のダビンチコード

浮世絵を拡大すると
様々なメッセージ
が隠されています

読み解く楽しさを
体験

東京ライオンズクラブ入会のお薦め

東京ライオンズクラブは結成以来、一人では不可能な事でも、皆で力を合わせれば、国内外の仲間に救いの手を差しのべられる事を、繰り返し実証し続けてきました。

日本のライオンズクラブの先駆けとして誕生した東京クラブは、常に先陣に立ち、ライオニズムの在り方を追求してまいりました。2022年に70周年を迎えるまでの長い足跡は、おのずから、時代と共にあるライオンズクラブの姿を物語り、新しい時代への示唆に富むものとなっていると言えましょう。

今後いかにして、時勢に沿った奉仕活動を実施していくかは、大きな課題でありチャレンジです。このチャレンジを正面から受けて立ち、世界のライオンズクラブのリーダーとして一緒に歩んでみませんか。

入会された皆様は、社会奉仕活動の感動と使命感、さらに生涯の友としての人の輪の広がりや、素晴らしいクラブライフをエンジョイすることができるものと確信しています。

【正会員】

豊かな知性と道徳心の持ち主で、地域社会で声望のある成年は、規定に従いライオンズクラブの会員になる資格があります。

会員になるには、当クラブ会員の推薦と理事会の承認が必要です。

入会金は50,000円、年間会費は半期140,000円、年間280,000円です。この会費には、クラブの運営費、月2回行われる例会費及び奉仕活動の事業資金である事業費を含んでいます。

【賛助会員】

現在は正会員として全面的に活動できないが、クラブの奉仕活動を支持し、クラブを賛助いただける、地域社会の優れた人物の為の制度です。

会員になるには、当クラブ会員の推薦と理事会の承認が必要です。

入会金は5,000円、クラブの会費は半期18,000円、年間36,000円です。(例会費は含みません)

東京ライオンズクラブ例会

【会場】帝国ホテル

【日時】

第二木曜日
(12時15分～13時30分)

第四木曜日
(18時00分～19時30分)



【お問い合わせ】

事務局：〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-10-5

TMA人形町ビル6F

電話：03-5244-9001 FAX：03-5244-9077

担当者：秦野 千春 hatano@lions-club-ato.com

H P：<https://tokyo-lionsclub.org>

